

研究課題名：スマートシューズを用いた腰部脊柱管狭窄症患者の歩行パターン解析

1. 研究の対象

2022年4月1日～2024年12月31日に当院の整形外科で腰部脊柱管狭窄症の手術を受け、手術前後に歩行解析検査を受けられた20歳以上の方

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

腰部脊柱管狭窄症は、足のしびれや痛み、歩くのがつらいといった症状を引き起こし、日常生活に大きな影響を与える病気です。腰部脊柱管狭窄症の患者さんは、手術前後に特別なセンサーが内蔵された靴(スマートシューズ)を使って歩行解析を行っています。スマートシューズを使えば、歩行速度やリズム、左右のバランスといった具体的なデータを簡単に得ることができます。これにより、患者さんの症状をより正確に把握し、治療の効果を詳しく確認することが可能になります。

また、手術を受けた患者さんにとっては、術後のリハビリが重要です。この研究では、手術前と手術後に測定した歩行データを解析し、治療がどの程度効果を発揮しているのかを検討いたします。

この研究を通じて、腰部脊柱管狭窄症の診断や治療がより良くなり、患者さん一人ひとりに合わせた治療方法の提供が可能になることを目指しています。これにより、手術を受けた患者さんがより快適な日常生活を取り戻せるようになることを期待しています。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2026年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

基本情報：患者ID（情報管理に使用）、年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、合併症

臨床情報：症状の程度（VASスコア）、日本整形外科学会腰痛評価質問（JOABPEQ）

画像所見：MRIによる脊柱管狭窄の程度

スマートシューズによる歩行データ：歩数、歩行速度、ストライド長、ケイデンス、立脚時間、遊脚時間、着地角度、離地角度、足の高さ、足向角

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

＜＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞＞

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属病院 整形外科

担 当 者：整形外科 講師 塚本正紹

電話番号：0952-34-2343

＜＜研究責任者＞＞

佐賀大学医学部附属病院 整形外科学講座 准教授 森本忠嗣

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より2026年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載しているものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chicken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧ください。